

Ⅱ 拠点館事業

平成 28 年度 市直営事業実績

1 生涯学習事業研究

生涯学習事業の現代的課題について、具体の先進的事業の事例研究として「調査」・「研究」・「分析評価」・「成果の活用」等を実施する。

(1) 若者社会参画型学習推進事業

地域課題の解決や復興まちづくりの担い手である若者の「自分づくり」を社会教育的なアプローチを生かして支援すると共に、若者の学びの成果を生かした地域づくり活動等への参画を促進することにより、さまざまな人々と協働しながら身近な地域をより良くすることへの関心を高め、社会・地域の一員として自発的・主体的に行動できる人づくりを推進する。

なお、平成 22 年度から 24 年度は「若者によるまちづくり実践塾」という事業名で各区中央市民センターにおいて実施した。平成 25 年度からは、事業名を変更して新たに各区中央市民センターで実施している。

【各区中央市民センターにおける受講者数等一覧】

区	受講者数(団体数)	受講者延人数	イベント参加者数	受講者内訳
青葉区	4	79	300	大学生
宮城野区	18	115	0	大学生等
若林区	26	114	593	大学生・社会人等
太白区	8(団体)	138	45	大学生
泉区	25	157	586	大学生・社会人

① 若者によるまちづくり実践塾

＜青葉区中央市民センター＞

地域と若者をつなぐことを目的としたミーティングを重ね、自分たちで企画を立てさせることで社会参画への意識を高めた。また、直接地域に出向いて取材活動をし、フリーペーパー『さんぽ』の第4号を発行した。

紙媒体での間接的な関わりだけでなく、地域の中で直接的な活動をしたいとの強い思いも芽生え、地域のイベントにボランティアとして参加したり、青葉区民まつりで自主企画を実施したりするなど、地域に根ざした活動を展開した。

② まいぷろ・Miyagino for Young PROgram

＜宮城野区中央市民センター＞

平成 28 年度は「仙台うみの杜水族館」「地域のイベント」「かべしんぶん」というコンテンツを用い、若者が取り組みやすく、かつ地域の「魅力」や「動き」に気づき、新たな活動を生み出そうとする意欲を高めるように工夫した。また事業全般にわたり、仙台市市民活動サポートセンターと連携した。

制作過程で、作成技量の向上と同時に、読者にわかりやすく伝えたい、掲出先の要望に

応えた完成度の高いものにしたいという思いが強くなり、そのことが成果物の出来栄にも表れた。受講者1名（大学生）が事業後に区まちづくり推進課の事業のチラシづくりをサポートするようになった。また取材時に「人の思い」を強調して取り上げることで、高校生の進路への考えも広がった。

制作した「かべしんぶん」は仙台うみの杜水族館をはじめ、市民センターや市内地下鉄3駅に掲出した。秋には昨年度より継続参加している大学生が「市長とカフェトーク」に招待され、取り組み内容をふまえて、自分の考えを述べられた。またNPO法人カタリバより「高校生マイプロジェクトアワード東北大会」への出場のお誘いをいただき、高校生受講者4名が発表した。活動内容のユニークさが各所から評価を得られた。

③ 仙白園プロジェクト・人

＜若林区中央市民センター＞

講座名は若林区中央市民センターが養種園（実験農場の役割を担い、仙台白菜を誕生させた）跡地に立地していることに由来。平成28年度は「畑作業」、「ボランティア」などを中心に活動を展開した。「畑作業」では、地域住民メンバーとの作業や調理実習などを実施し交流を深めた。また畑の収穫物（じゃがいも、枝豆、白菜）を活用し、夏の交流会、冬の収穫祭（クリスマス会）を企画・運営した。

④ 仙台学生サークルネットワーク事業「つながりんぐ」

＜太白区中央市民センター＞

地域や地区市民センターから「学生と連絡を取りたいがどうしたらいいかわからない」、また、学生からは「社会貢献したいが窓口がわからない」等の意見をうけて、本事業を平成26年に立ち上げ、名称を「つながりんぐ」としてスタートした。若者の社会参画をねらいとした活動の受け皿となるネットワークを構築するために、在仙のボランティア活動を行うサークルの新入生歓迎会で直接交渉をしたり、大学でPR活動を行ったりした。その結果、10団体の学生サークルが集まった。平成28年度は8団体にて、長町交流フェスタでイベントを企画（お化け屋敷、落語）し、情報誌を作成した。完成した情報誌は仙台市内の小中学校や地区市民センター、区役所、町内会、NPO法人、地元企業等に配布した。

成果としては、定例会やイベント企画を通して各サークルが互いの活動を知ることになり、より親密な交流を生み出すことができたこと、活動の受け皿となるネットワークが構築されたこと、情報誌の作成により学生の活動を広く発信できたこと、そして地域への関心が高まったことがあげられる。今後の課題は、各サークルの持ち味を生かした活動を行うために、若者の社会参画をねらいとしたイベント等を企画し、実行していくことである。

⑤ ICP Izumi Community Project

＜泉区中央市民センター＞

泉区内の大学に通学している学生を中心とした受講生が、ネットワークを広げながら地域創造について考える企画講座である。受講生が持つ泉区のイメージなどを整理し、自分たちが取り組んでみたいことについて話し合い、自主企画を考えた。月1回行われた全体

会では、受講生が関心を持った泉西部地区の学習を深めた。また、随時、「かむりの里伝承物語」や「かむりの里凧揚げフェスタ」、「リンゴ農作業体験」など泉西部地区でのイベントに参加することで、受講生は、地域の人々の温かさや地域の魅力を再発見し、自主企画の実施に向けて意欲を高めることができた。主な自主企画としては、「根白石まちあるき探検ツアー・意見交換会」や泉ヶ岳で「雪遊びだよ！冬山集合！」を実施した。地域の人やものについての理解を深めながら、泉区の豊かな自然や根白石の魅力を伝えられるように事業を展開した。他にも成人式「交流の広場」や「泉5大学まちづくりフェスティバル」で活動報告を行った。昨年度までの学習活動や自主企画事業実施の経験を生かしながら、新たな事業を企画・実施し、泉区やまちづくりへの関心をさらに高めることができた。

⑥「若者社会参画型学習推進事業」にかかる支援及び成果報告会

＜生涯学習支援センター＞

各区中央市民センターで実施している本事業の受講者や担当者を対象に、情報交換会や交流会、成果報告会を実施し、各区中央市民センターの事業内容の再確認・見直しの機会を提供すると共に、受講者の参加意識の向上を図った。併せて、市民センターにおける本事業の普及・推進を図るために区中央市民センターが実践している本事業の成果と課題から、重要なエッセンス及びノウハウを抽出して地区市民センターにフィードバックすること、及び区中央市民センターの事業が円滑に進むように後方支援を行った。

(ア)啓発事業（参加者：各区中央市民センター若者事業担当者）

大学において各区中央市民センターの事業担当者から学生に対して、若者参画型の事業企画、実施内容のPRを行った。若者参画型事業に対する学生の率直な意見を聴く機会にもなった。

H28. 5.12 東北学院大学教養学部にて実施

H28. 5.31 宮城教育大学教育学部にて実施

(イ)方向性を確認する会

(H28. 4.19 参加者：各区中央市民センター若者事業担当者等 17名)

生涯学習支援センター・各区中央市民センターの事業担当者を対象に、年度初めに際して、実施計画をもとに意見交換や助言者からのアドバイスを得る機会を設定することで、事業内容をブラッシュアップするとともに、効果的な事業展開を目指すために実施した。

【助言者】水谷 修 氏（東北学院大学 教授）

(ウ)中間報告会（H28. 11. 8 参加者：各区中央市民センター若者事業担当者等 12名）

生涯学習支援センター・各区中央市民センターにおける事業のこれまでの取組状況の報告と今後の予定などの情報の共有化を図り、今後の事業展開の参考とするために実施した。

(エ)事業 PR, 交流会実施に係る委託事業

各区中央市民センターにおける事業が円滑に進むよう当事業のPR, 交流会実施の業務を株式会社リアルカレッジに委託した。事業PRは、Facebook, Twitter等のSNSを活用し広報した。交流会は、せんだいメディアテークで実施した。

(オ)交流会(2回)

(H28. 11. 27 参加者：各区中央市民センター若者事業担当者 4名 受講者 8名)

(H29. 1. 15 参加者：各区中央市民センター若者事業担当者等 10 名 受講者 12 名)
 本事業の受講者を集め、情報交換を行わせることで交流を深めるとともに、受講者自身の事業の振り返りや事業改善、活動意欲を高めることをねらいとして実施した。2 回目の交流会については、業務委託契約をした株式会社リアルカレッジが中心となり実施した。

(カ)成果報告会

(H29. 1. 15 参加者：事業受講者 14 名 社会教育施設職員等 76 名 市民 239 名)
 メディアテークを会場に、各区中央市民センターの事業担当者、若者事業受講者が平成 28 年度の取組や成果と課題について発表し、助言者からアドバイスをいただき、次年度事業に向けてのブラッシュアップを図った。

【助言者】水谷 修 氏（東北学院大学 教授）

(2) 住民参画・問題解決型学習推進事業

地域特性に応じた市民協働による地域づくりを推進するため、住民と市民センター職員が協働して地域課題を発見し、解決につながる活動を実践することにより、そこでのさまざまな学びのプロセスを通して地域づくりを担う人材を発掘・育成することを目的に、平成 23 年度から各区中央市民センターで事業を実施している。

【各区中央市民センターにおける受講者数等一覧】

区	受講者数	受講者延人数	イベント参加者数	受講者内訳
青葉区	9	43	133	三本松 9
宮城野区	27	494	1,060	中野 13・東仙台 14
若林区	18	146	300	六郷 7・団体 10
太白区	34	163	1,186	区内 32 団体
泉区	43	149	386	根白石 36, 泉区中央 7

① 地域元気クラブ

<青葉区中央市民センター>

受講生が講座での学びを生かして、地域の資源や人材を活用し、地域を元気にする企画を提案・実践していくことで、地域活性化のためのノウハウや地域づくりに必要なネットワークを学んだ。企画する事業での参加者や連携先が増えたり、学校をはじめとする地域の諸団体から活動依頼が増えたりするなど地域との顔の見える関係が築かれつつある。

(企画・実施した事業…野鳥を見る会、公園整備・活性化に係る勉強会、初日の出を観る会等)

② 地域の“絆”再生プロジェクト 「地域づくり講座」

<宮城野区中央市民センター>

高砂市民センター、東部市民センターと連携しながら、地域の住民がこれまで以上に地域づくりに関心を持ち、地域課題や地域の将来像を共有できるようにするためのワークショップやフィールドワーク等を展開する講座を行った。

今年度の成果として「中野ふるさと学校」では、「ふるさとの喪失」という地域課題を自分

事としてとらえ、震災前の地形や足跡を残すために宮城野区蒲生地区にある「日本一低い山・日和山」の「ジオラマ作り」に取り組んだ。また「日和山登山」や「交流会」、語り部としての活動等に取り組み、活動の幅を広げている。一方「東仙台耀きクラブ」では、地域の歴史や資源を見直し、自作の「まち歩きガイドマップ」に盛り込んでいった。漠然とした街歩きではなく「街の良さを紹介していく」活動を進めていくことができた。

いずれの講座でも取組の段階に応じた手順を踏んで、事業を展開していくことができた。

③ わたしのふるさとプロジェクト

<若林区中央市民センター>

震災による津波で大きな被害を受けた六郷の沿岸地域の状況を踏まえて企画した事業。六郷東部地区は移転された方も多く、震災前と比べて人口が大きく減少している。一方、地域に残った方、戻った方はもとより、移転された方の間でも地域への愛着は強い。このような地域課題を踏まえ、平成 28 年度も六郷東部地区のコミュニティやにぎわい再生に向けて「わたしのふるさとプロジェクト」を継続し、六郷東部地区住民の交流会開催を目標に地域住民（移転された方を含む）の話し合いを月 1 回程度行った。昨年に引き続き、1 月に東六郷小学校を会場に六郷東部交流会「鎮魂の花火」を実施した。

④ たいはく子育て支援ネットワーク事業

<太白区中央市民センター>

従来の子育て支援ネットワークを生かし、子育て世代への支援と子育て支援者へのサポートを行いながら、地域で活躍できる人材育成を目的に事業展開した。子育て支援者へのサポートとして年 7 回の区拠点館主催の情報交換会や研修会を行った。（延べ人数 163 名）日々の支援活動につながる研修内容が好評を得ており、参加者が学びをいかせる支援となった。子育て支援者と子育て世代がつながる場である“太白区初めてママのウェルカムパーティー”（80 名）は、参加した子育て世代と子育て支援者が顔見知りになる機会となり、継続して関わり合える関係づくりにつながった。子育て世代への支援として、地区市民センター（3 館）と共催講座（7 講座）を実施し（全講座延べ受講者数 1,316 名）、継続受講者が自主サークルを立ち上げ、地域交流や子育て支援の場を提供することができた。また、連携団体と共催し地域に根差したイベントや行事を実施することができた。「子育て支援」「地域交流」をキーワードに新たな視点でのネットワークが構築され、地域づくりを担う人材育成につながった。

⑤ ちいきいきいきプロジェクト「泉区西部のまち興し〜かむりの里凧揚げフェスタ」

<泉区中央市民センター>

「かむりの里凧揚げフェスタ」（根白石市民センター）は、地域おこしに取り組みながら、住民自らが、住民同士の結びつきや交流の促進、地域コミュニティの活性化に取り組むことを目指した事業である。地域の学校や児童館、町内会、商店会などの地域の団体等による企画会議を立ち上げ、各部会に分かれて話し合いや準備を進めた。また、エリア内の小学校や児童センター等での凧作り教室を通じて、伝統の「するめ天旗」を作り、揚げ

る楽しさを味わってもらうことで、フェスタ当日への参加を促した。当日は、凧絵コンクール、凧揚げ、豚汁のおふるまいなどがあり、参加者は晴天に恵まれた冬の休日を楽しみ、実行委員会やスタッフとして携わった地域の諸団体・住民は地域の結束を感じる事ができた。

新規で立ち上げた「七北田味の歳時記クラブ」は、失われつつある郷土料理の発掘・再現、また、関連した伝統や風習などの掘りおこしなどを通して、豊かな地域コミュニティと住民の共通した郷土愛を創造していくことを目指した事業である。初年度は、事業スタッフ自らが、楽しみながら区内の食に関わる体験、再現、調査を行うなどし、次年度の、伝え・広げる活動に資する情報収集活動を行うことができた。

⑥「住民参画・問題解決型学習推進事業」にかかる支援及び成果報告会

＜生涯学習支援センター＞

各区中央市民センターで実施している本事業の受講者や担当者、地区市民センター職員を対象に、研修会や報告会等を実施することを通して各区中央市民センターの事業推進を支援した。

(ア)方向性を確認する会 (H28. 4. 22 参加者：各区中央市民センター大人事業担当者 18名)

生涯学習支援センター・各区中央市民センターの事業担当者を対象に、年度初めに際して、実施計画をもとに意見交換や助言者からのアドバイスを得る機会を設定することで、事業内容をブラッシュアップするとともに、効果的な事業展開を目指すために実施した。

【助言者】水谷 修 氏 (東北学院大学 教授)

(イ)中間報告会 (H28. 11. 2 参加者：各区中央市民センター大人事業担当者 13名)

生涯学習支援センター・各区中央市民センターにおける事業のこれまでの取組状況の報告と今後の予定などの情報の共有化を図り、今後の事業展開の参考とするために実施した。

(ウ)成果報告会 (H29. 1. 15 参加者：事業受講者 43名 社会教育施設職員等 101名 市民 239名)

各区中央市民センター事業担当者及び事業受講者、市民センター職員、関係課職員、市民を対象に、各区事業の報告並びに成果と課題等について総括する成果報告会を開催した。事業報告は事業担当者や受講者が行い、コーディネーターや助言者からアドバイスをいただき、次年度事業に向けてのブラッシュアップを図った。

【助言者】水谷 修 氏 (東北学院大学 教授)

(エ)パンフレットの発行

市民や関係機関に向けて、住民参画・問題解決型学習推進事業の啓発のために 1,500部作成し、区中央市民センター及び地区市民センター職員に配布し、市民向けに配架した。



(3) 子ども参画型社会創造支援事業

本事業は、子どもたち（小学校，中学生，高校生）が，地域の中で役割を持ち，社会の構成員として積極的にまちづくりに参加し，自分たちの地域の課題に気づき，地域・社会の一員として行動する視点を持つことで，将来的に地域や社会で主体的に活躍できるようになることを目指した「人づくり」を目的としている。平成 23 年度から，各区中央市民センターを中心として実施している。

【各区中央市民センターにおける受講者数等一覧】

区	受講者数	受講者延人数	イベント参加者数	受講者内訳
青葉区	32	308	154	小・中・高校生等
宮城野区	32	201	585	小・中学生
若林区	37	189	0	小・中学生
太白区	42	351	0	小学生
泉区	16	112	537	小・中学生

① Sendai Aoba Teens Club

<青葉区中央市民センター>

「SATC 情報部ふおるていお」は，地域資源を題材にした番組づくりと「カップダ川プロジェクト」公開講座のサポートを行った。「食について考えようプロジェクト」は，地域講師の指導のもと，栄養素の摂取と食生活や伝統的な食事などについて実践を通して学び，子ども対象の講座を実施した。また「カップダ川ダンス部」は，地域に流れる『カップダ川』をテーマにしたダンスを地域行事で披露したり，地域住民とともに踊ったりしながら地域の絆づくりに積極的に取り組んだ。

活動を通して，地域のひと・もの・ことについて理解を深めるとともに，それらを尊重しようとする心情も育ってきている。

② 進め！みやぎのキッズもりあげ隊 ～みんなの力で地域を元気にしよう～

<宮城野区中央市民センター>

2つの地区市民センターと共催で，子どもたち目線でそれぞれの地域を盛り上げる事業。1つ目は，区中央市民センターの原町小児童を対象とした，「原町キッズもりあげ隊」。「交流」と「仲間集め」をテーマに，地域のまつりに遊びのお店を出店し仲間を募ったり，市民センターを会場に子どもから大人までみんなで楽しく交流できる場を作ったりした。2つ目は，東部市民センターの新田小児童を対象にした，「新田まちづくり子ども計画」。アンケートやワークショップを通して，地域への思いや気になることを引き出し，「あそび」をテーマにした講座やまち歩き，メッセージカード作り等を行った。

子どもたちが地域の市民センター等に自分たちの活動拠点を設け，イベント企画や情報収集・発信の活動によって地域とつながり，社会に参画していくきっかけづくりになっていた。

③ 子どもボランティア事業 チャイルドボランティア「チャボ！」

＜若林区中央市民センター＞

誰かの役に立つことで社会・地域の一員として自分の存在の大切さを体感することができるよう、子どもたちにボランティア活動の機会をつくる事業。対象は当センター近隣の小学4年生～中学生で、平成29年3月現在37名が登録している。地域の団体や施設などの協力を得て、一年を通して月1,2回活動しており、平成28年度は、地域清掃、児童館等の行事の手伝い、被災した農地にヒマワリを植える手伝い、高齢の方に届ける宅配弁当に添える手紙書きなど26回の活動を行った。

④ エフエムたいはくキッズ情報局

＜太白区中央市民センター＞

4つの地区市民センターと1つの小学校と共催で、それぞれの地域の良さをエフエムたいはくのラジオで発信するという事業。全体会は3回の講座、その他に地区ごとに各4回程度活動した。エフエムたいはくのキッズアナウンサーとして、また、地域のキッズリーダーとして、市民センターや学校を拠点に活動し、活動したことはFM放送で発信した。

地区市民センターを拠点に活動することにより、地域のさまざまな方と交流することができた。また、番組作りを通して、自分たちの地域を学習したり、地域の良さを再発見したりすることができ、地元意識・地域愛につながった。さらに、他の地域との交流を実施することで、自分たちの地域の良さをもっと調べて発信したいという意欲につながった。ジュニアリーダーと一緒に地域の行事に参加することにより、ジュニアリーダーの頼もしさを感じることができ、ジュニアリーダーを知ってもらえる良い機会となった。

⑤ アートフルいずみゆめ工房・子どもまちづくり企画室

＜泉区中央市民センター＞

「アートフルいずみゆめ工房」は、小中学生が自分の得意分野を生かし、創作活動を介して地域の活性化を進める企画を発案・実施する事業。講師や東北生活文化大生から学んだことをアート交流活動に生かしている。

平成28年度は、受講者が関心をもった「ガチャポン」とその中身になる「プラ板キーホルダー」の制作活動を主に行い、泉環境まつりなどの地域イベントで出店をした。植物や動物などを装飾した色彩豊かなプラ板のキーホルダーは、来場者から好評を得た。さらに、市名坂小学校での「市小カーニバル」では、ガチャポンを賞品にイラストクイズなどのブースを企画・運営して、多くの小学生を楽しませることができた。また、壁に飾れるクリスマスツリーを制作して地域の老人ホームに届けるなど、高齢者と交流することもできた。

「子どもまちづくり企画室」は、小中学生が自分たちの住む地域にある課題やニーズに気づき、自分達にできることを考え、取り組める子どもたちの育成を目指す事業。平成28年度は、七北田地域のまち歩きをしたり、その際に地域住民の方々にインタビューをしたりしてまちを知る活動を行った。加えて、地域イベント「あそびの天国」で、ブレスレットを制作するブースを企画・出店する等、地域のためになることを考え活動することがで

きた。

⑥「子ども参画型社会創造支援事業」にかかる支援及び成果報告会

＜生涯学習支援センター＞

各区中央市民センターで実施している本事業の受講者や担当者，地区市民センター職員を対象に，報告会や情報交換会等を実施し，各区の事業推進を支援した。

(ア)リーフレットの発行

地区市民センター及び仙台市内の小中学校に向けて，子ども参画型社会創造支援事業の啓発のために発行した。1,500部作成し，地区市民センター職員と市内小中学校，高等学校，中等教育学校に配付した。



(イ)方向性を確認する会 (H28. 4. 21 参加者：各区中央市民センター子ども事業担当者 18名)

生涯学習支援センター・各区中央市民センターの事業担当者を対象に，年度初めに際し，実施計画を基に意見交換や助言者からのアドバイスを得る機会を設定することで，事業内容をブラッシュアップするとともに，その後の効果的な事業展開を目指すために実施した。

【助言者】新田 新一郎 氏 ((有)プランニング開 代表)

(ウ)石巻・仙台子ども活動交流会 (H28. 8. 18 参加者：事業受講者 18名，事業担当者 8名)

各区中央市民センターにおける「子ども参画型社会創造支援事業」を受講する児童・生徒や事業担当者が，石巻市で子どもセンター「らいつ」の企画や運営に関わっている児童・生徒やその職員との交流を通じて，互いの活動について知るとともに，これまでの活動を振り返ることで，今後の活動に対する意欲を高め，事業のブラッシュアップを図ることを目的として実施した。

(エ)中間報告会 (H28. 10. 25 参加者：各区中央市民センター子ども事業担当者 12名)

生涯学習支援センター・各区中央市民センターにおける，これまでの事業の取組状況報告や，今後の予定などの情報共有を図り，今後の事業展開の参考とするために実施した。

(オ)成果報告会 (H29. 1. 15 参加者：事業受講者 57名，社会教育施設職員等 86名，市民 239名)

各区中央市民センターの子ども事業受講者が，取組の様子や自分たちの意識の変化についての発表したのち，助言者から各区の取組の良い点や今後の活動に役立つような助言をいただいた。地区市民センター職員に対しては，本事業への市民センターとしての働き掛けや支援の実際について，普及・啓発を図る内容とした。

【助言者】新田 新一郎 氏 ((有)プランニング開 代表)

(4) 学習成果社会還元事例研究

◎事業例 まなびごっこ

<若林区中央市民センター> (161回実施 延参加者：3,559名)

若林区内で活動する生涯学習指導者ボランティアグループ「まなびごっこ」がこれまでに培った知識や技術を生かして、当センターと共催で誰でも参加しやすい内容の講座・教室（男の料理教室，女性のための囲碁教室，映画上映会など13種類）を開催した。

(5) その他の生涯学習研究事業

◎事業例 泉区の社会教育を考える会

<泉区中央市民センター> (事業検討6回，事業7回実施 延参加者：116名)

区内の社会教育について，区内嘱託社会教育主事と協働し，既存の事業の見直しや，新たな事業方法の研究開発を行った。また，その事業を実施検証し，社会教育事業の新たな展開の可能性を探り，泉区の社会教育事業について活性化を図った。

2 広域規模の学習支援

全市・区規模の学習支援，場合によっては複数の区の連携による取り組みを推進する。市政各般の領域に係る施策，市民の課題ニーズを考慮するとともに，地域に濃淡なく生涯学習が行われるよう学習プログラムをつくり，実施する。

(1) 仙台明治青年大学

<生涯学習支援センター>

地区市民センターの老壮大学やシルバーセンターのせんだい豊齢学園を修了した高齢者（61歳以上の仙台市在住者）が学習をさらに深め，豊かな社会生活を営めるよう，学習意欲の向上が図れるような学習会や大学祭などについて設立50周年記念企画を織り交ぜながら開催した。学生は，本科生として6年間，その後研究生として引き続き籍を置くことができる。平成28年度は新入生74名が入学し，在籍者数は810名となった。

【主な活動】

活 動	活動内容	実施回数	延参加者
学習会	<ul style="list-style-type: none"> ○学習会（18回） 太白区文化センター楽楽楽ホールを会場に開催。1回あたりの平均出席者数は598名であった。文化芸能，健康，震災などをテーマに，外部講師を招聘し実施した。 ○対話集会（2回） 「私の地域貢献活動について」をテーマに，学生間で意見交換を行った。 ○大学祭（3回） 楽楽楽ホール，生涯学習支援センターを会場に実施。サークル団体の活動発表の場となっている。 ○式典（3回 うち1回は再掲） ・入学・開講式 ・設立50周年記念式典 ・修了・閉講式 	25	13,857
広報活動	<ul style="list-style-type: none"> ・学生間の情報共有を促進するため，学内広報誌「団欒」を発刊した。 ・文芸誌「老学文苑 創立50周年記念号」を発刊した。 	—	—
ボランティア活動	<ul style="list-style-type: none"> ・近隣小学校，児童館で昔遊びや囲碁・将棋，七夕飾り作り等を教えている。 ・近隣中学校で「仙台自分づくり教育」の一環として，キャリア教育の講師を務めた。 ・市民センター事業への協力や外部からの要請にも対応した。 ・学習会の際にワンコイン募金活動を行った。 	—	—

(2) 「学都仙台サテライトキャンパス」支援事業

＜生涯学習支援センター＞

大学等の高等教育機関の連携組織である「学都仙台コンソーシアム」(平成18年設立)のうち「サテライトキャンパス部会」で実施する公開講座「学都仙台サテライトキャンパス」(69講座実施, 2,078名受講)や部会構成校が独自に実施する市民向け公開講座について, 市民が円滑に講座を受講できるよう, 広報及び情報提供等の支援を行った。

(3) 秋の子どもの日事業

秋休み期間中の子どもの居場所づくりとして, 子ども向け事業を実施した。

開催日	主催館名	内容	参加者
10月9日(日)	若林区中央市民センター	秋の子どもの日「ワカチュウ子どもランド」小学校の秋休みに合わせて, 工作, 茶道などの体験の場や, 遊びのコーナーを提供した。また, 児童館の子どもたちの発表やマジックショー, などのステージ発表を実施した。	424

(4) その他の主な事業

① 若い青年教室

＜生涯学習支援センター＞

仙台市内に在住又は勤務している知的障害のある青年に対し, 仲間づくりや生活上の基本的知識・技能の習得に役立つ活動を展開することを目的として, 学習機会を提供する事業を行った。

【昭和45年度開設: 教室生36名 9回実施】

② その他

館名	事業名	内容	開催回数	参加者
青葉区中央市民センター	子どものための日本語講座	日本語を母語としない小学生, 中学生に日本語を学習する機会を提供し, 充実した学校生活を送れるように支援している。	34	489
	せんだい日本語講座	在仙の外国人等に, 日常生活に必要な日本語習得の機会を提供するとともに, 日本の伝統文化に触れ交流する場を設定することで, 国際交流や多文化理解を促進している。	680	8,393
宮城野区中央市民センター	宮城野学講座	市民企画員を中心に, 宮城野の風土や文化について, より広く知られ, 後世に継承していけるようにするための講座を年間2回開催した。また活動成果をセンターまつり等を通して行った。	2	132

	宮城野カルタ	郷土愛に満ち、多くの世代が交流できる「宮城野かるた」制作のため、かるたに関することを学び、合わせて市民に参加してもらおう場づくりをする。カルタのテーマとする区内の事柄55件を選んだ。	12	120
若林区 中央市民 センター	家庭教育講座	未就学児の保護者、子育てに関心のある方を対象に「子育てにおける子どもとのかかわり方」をテーマに宮城県生涯学習課の協力を受け、ワークショップ宮城県版親の学びのプログラム「～十人十色の子育て&親育ち～親のみちしるべ～」を活用して実施した。	2	31
	私の地方史研究	主に仙台市内の歴史・民俗を対象とし、文献資料の使い方や有形資料の事実記載などを学んだ。各受講者は、史資料の使い方は一定程度上達したが、当初目的とした調査報告書の作成までは至らなかった。ただし、3名が課題を持ち調査を継続している。	10	45
	六郷・七郷を訪ねる会	震災の記憶をとどめるとともに復興を支援するきっかけとしてもらうため、六郷・七郷地域を市民がバスで巡り、地域の状況を見聞きする機会を設けた。	1	49
	バリアフリースポーツ「ボッチャ」普及事業	年齢・性別・障害の有無に関わらず楽しめるスポーツ「ボッチャ」を体験できる場として、月1回の定例会及び年1回の大会を開催した。	12	253
太白区 中央市民 センター	あすと長町地域活性化事業	太白地区住民を対象に長町秋のフェスティバルと題して「食」・「スポーツ」・「芸術」をキーワードに『なわとび大会・綱引き大会』を行った。さらに、約50店舗余りが集まり『長町マルシェ』を開催した。	1	4,500
泉区中央 市民セン ター	団体長縄跳び競争「第10回みんなでジャンプ！シェルコム大会」	区内の小学生を対象に、冬場の体力づくりと地域間交流、世代間交流を図る目的で長縄跳び大会を開催した。	1	514

3 学校・地域連携推進

学校や地域団体等とネットワークをつくり、さまざまな人たちが連携して課題に取り組めるよう必要に応じて、つなぎ手、支え手の役割を果たす。

(1) 学びのコミュニティづくり推進事業

<生涯学習支援センター>

子どもの健やかな育ちを支援するための多様な人間関係を地域に育てることを目的として、PTA、町内会等、地域のさまざまな団体が連携して子どもと大人の交流や自然体験、社会体験の機会を提供する事業を実施している。各事業は学校や市民センター等が事務局となっており、学校・家庭・地域社会がそれぞれの教育機能を相乗的に発揮する地域づくりを目指している。

平成28年度は8団体に対して委託を行った。(平成13年度より実施)

また、3年間の委託が終了した後も26団体が現在も自主的に活動を継続している。

《平成28年度の委託団体》 8団体

団体名	区	ねらい・概要	委託状況
住吉台小学校おやじの会	泉区	学校、PTA、児童センター、地域と連携しながら、それぞれの行事に協力・参加するなど、子どもたちのために活動を行った。【住吉台小学校区】	新規
田子っこ学びのコミュニティ推進委員会	宮城野区	田子小学校おやじの会が中心となり、野外活動、昔遊び体験、防災訓練を兼ねた夜の校内探検などを通じて、健やかな育ちへの支援と多様なコミュニティづくりを目指した事業を行った。【田子小学校区】	〃
森の応援団 愛子ハグリズム	青葉区	地域、学校、PTAが、子どもの森での授業や、親子体験活動をサポートすることで、互いの活性化を図った。【愛子小学校区】	2年目
楽コミ金剛沢おやじっ子推進委員会	太白区	「大人(おやじ)たち」がこれまで得てきた経験・知恵を出し合っ て地域・社会の宝である「子どもたち」と一体となる「楽しい活動」を積み重ねることにより、子どもたちと共に学び、豊かな人間関係を築きながら、生き生きとした地域づくりに関わるさまざまな活動を行った。【金剛沢小学校区】	〃
坪沼スポーツ振興会	太白区	坪沼地区の小学生から大人まで、地区住民全員の体力維持・増進と地域コミュニティの活性化をねらいとして、スポーツに関わる事業を実施した。	〃
未来っこ桂	泉区	委員会を構成する団体のネットワークを活かし、こども対象の体験型の事業を実施し、「桂が故郷」という思いを育み、子どもたちの健やかな成長を支援することをねらいとし、地域内の他団体や個人の理解と賛同を得て、子どもたちの学びをとおした地域コミュニティの広がりを目指した活動を実施した。【桂小学校区】	〃
学コミ「中野栄楽舎」	宮城野区	「地域の子どもは宝」をテーマに、地域内の様々な団体が連携してネットワークをつくり、目的を共有しながら、地域全体で子どもたちの健やかな育ちを支援する事業を実施した。【中野栄小学校区】	3年目
山ガキ隊わくわく学校推進委員会	太白区	地域のさまざまな学校や団体がネットワークを作り、協力して子どもたちに豊かな体験活動をする場を創出することで、地域と子どもたちのつながりを強め、健全な育成に寄与するような活動を実施した。【上野山小学校区】	〃

《委託終了後も自主的に活動を行っている団体》 25 団体

団体名	区	委託終了年度
袋原中学校区学びのコミュニティ推進委員会	太白区	平成 27
ロングライフヒルコミュニティ協議会	泉区	平成 27
川平学びのミュージアム	青葉区	平成 26
おいで里ネット	太白区	平成 25
五城学区地域連携教育推進委員会	青葉区	平成 24
福室学びのコミュニティづくり推進委員会	宮城野区	〃
「がんばれ秋保っ子」推進委員会	太白区	〃
チームやかたプロジェクト推進委員会	泉区	〃
カモンレインボープラン推進委員会	泉区	〃
旭ヶ丘わんぱく森 ² がっこ推進委員会	青葉区	平成 23
上愛子学びのコミュニティづくり推進委員会	青葉区	〃
「西山っ子ニコニコ楽校」	宮城野区	〃
通学合宿連坊実行委員会	若林区	〃
まなびネット「いずみ中山」	泉区	〃
ひがろく おやネット推進委員会	若林区	平成 22
将監こども楽校推進委員会	泉区	〃
まなこみネット鶴が森 II	泉区	平成 21
パパネット南小泉推進委員会	若林区	平成 19
かみすぎねっと	青葉区	平成 18
作並学びのコミュニティ推進事業実行委員会	青葉区	〃
ふれあい学びネットい・ず・み推進委員会	泉区	平成 16
松陵っ子, 土っと来い!	泉区	〃
まちがっこ推進委員会	青葉区	平成 15
榴岡かいわい学びのコミュニティ推進委員会	宮城野区	〃
ながまち学びネット推進委員会	太白区	〃

(2) 学びのコミュニティづくり推進事業支援等

「学びのコミュニティづくり推進事業」の委託団体及び、3年間の委託期間終了後も自主的に事業を実施している団体に対して、活動支援を行った。

また、委託期間が終了した後も自立した活動を行っている 26 団体も含め、事業実施団体連絡会による研修会を開催し、団体相互の情報共有を図った。

【平成 28 年度に市民センターが関わった主な事業（委託期間中の事業）】

館名・事業名	概要	実施回数	延参加者
宮城野区中央市民センター			
中野栄地区学びのコミュニティ推進事業推進委員会（中野栄学舎）	中野栄小学校区の各団体や市民センター等と連携し、地域における子供たちの学びを支援する仕組みを作ることを目的に、自然体験、社会体験を実施した。 ・7月9日（土）Eボートに乗ってみよう（参加者55名） ・1月7日（土）昔あそび&おしるこ会（参加者85名）	7	200

【委託終了後の事業に対する継続的支援等】

館名・事業名	概要	実施回数	延参加者
青葉区中央市民センター			
旭ヶ丘わんぱく森 ² がっこ	旭ヶ丘小学区の学校関係団体・地域団体等との連携により、子どもの健やかな育ちに資する事業を実施した。 ・4月～11月 森 ² ファーム ・6月18日 旭ヶ丘ホテルまつり参加 ・7月7日～8日 旭ヶ丘夏まつり参加 ・10月8日 金成農業体験ツアー ほか	7 1 1	56 53
かみすぎねっと	上杉山通小学校区の学校関係団体・地域団体等との連携により、子どもの健やかな育ちに資する事業を実施した。 ・9月3日 おもしろ子ども会 ・8月30日～31日 Gakkouへ泊まろう ・6月18日 上杉地区大運動会 ・8月21日 上杉地区夏まつり ・9月14日 世界の音楽～馬頭琴～ ほか	1 1 1 1 1	
まちがっこ	東二番丁小学校・幼稚園をはじめ、青葉区中央市民センター周辺の関係団体等との連携により、子どもの健やかな育ちに資する事業を実施した。 ・花のあるまちづくり ・どろんこ遊び	2 1	
川平学びのミュージアム	川平小学校区の学校関係団体・地域団体との連携により、子どもの健やかな育ちに資する事業を実施した。 ・4月17日～11月26日 白菜ミュージアム ・7月16日～17日 親子ふれあいワクワクキャンプ ・10月15日 川平フェスタ	3 1 1	62 158 600
宮城野区中央市民センター			
榴岡かいわい学びのコミュニティづくり推進事業	仙台駅東口かいわいの幼児、小学生を対象として遊びの広場を提供した。また、地域の住民や中学生、ボランティア等の参加も促し、異世代間の交流を図った。 ・8月27日第15回つつじがおかワイワイ夏まつり ・1月28日第10回つつじがおかワイワイ冬まつり	9	950
若林区中央市民センター			
南小泉子どものふるさとづくり推進事業	学びのコミュニティづくり推進事業で立ち上げた「南小泉パパネット」が南小泉小学校の児童や保護者を対象に実施する事業への支援を行った。 ・7月30日 なつなつ南小 ・10月22日・23日 あきあき南小 ・1月21日 ふゆふゆ南小	3	268
区内小学校合宿等支援	学びのコミュニティづくり推進事業から続く「通学合宿！連坊！」など区内小学校の合宿等の事業を支援した。 ・7月30～31日 学校に泊まろう会（六郷小） ・7月30～31日 学校に泊まろう会（大和小） ・8月20～21日 キャンプ in 南材（南材木町小） ・10月5～7日 通学合宿！連坊！（連坊小路小）	4	320
若林小あそび場支援	若林小学校を中心に放課後の児童に小さな冒険を秘めた遊びの場をつくる「若林小あそび場」の活動（概ね月1回開催）を、関係団体、若林児童館、若林市民センター、ボランティアとともに支援した。	11	1,030

太白区中央市民センター			
秋保地区学びのコミュニティ推進事業推進委員会(がんばれ秋保っ子)	秋保中学校区の各団体と協力して事業を実施することで地域全体で子どもを育てていくきっかけをつくった。 ・10月16日 キックベースボール大会(参加者 小中学生 40名) ・1月7日 秋保カルタ大会(参加者 72名) ・秋保地区行事カレンダー作成	4	204
ながまち学びネット	長町中学校区(長町小・長町南小・鹿野小学校区)内児童・生徒や保護者、地域住民とともに、子どもたちの健全育成を目的とした参加体験型の活動を行い、地域コミュニティを深めていく。 ・7月27日 こども防災キャンプ(参加者 136名)	8	296
泉区中央市民センター			
区内学コミ連絡会	区内で活動している各学コミ委員会と情報を共有し、学コミの活動の促進ならびに拡大を図った。 ・6月11日 第1回連絡会(年間計画, 情報交換)	1	17
ふれあい学びネットい・ず・み推進委員会	七北田中学校区内の諸団体が連携し、青少年健全育成事業の展開を図るとともに、子どもの居場所づくり事業について協議、企画、実施した。	14	280
	・7月9日 七小ゆめフェスティバル	1	269
	・8月5日～8月6日 キャンプだホイ!2016in 市名坂	1	197
	・11月19日 市小カーニバル ・2月19日 あそびの天国 2017	1 1	516 429

(3) 嘱託社会教育主事研究協議会区部会との共催事業

嘱託社会教育主事（社会教育主事資格を持ち学校に在籍している教員）研究協議会の各区部会と各区中央市民センターの共催による事業を通して、子ども達の健全育成や地域コミュニティの活性化を図り、地域で子どもを育てる環境づくりを推進した。

館名	内容	実施回数	参加者
青葉区中央市民センター	6月30日 青葉区社会教育推進連絡会研修会 7月3日 ジュニアリーダー初級研修会 8月21日 ジュニアリーダーとの交流会研修会 「青葉チャレンジJL in 博物館」 9月11日 子ども会対象事業 「青葉チャレンジキッズ in 科学館」 11月19日 脳トレーニングで 笑顔UP ～親子いっしょに脳を輝かせ 明るく笑顔あふれる家庭づくり～	5	331
宮城野区中央市民センター	6月17日 宮城野区社会教育推進連絡会研修会 7月16日 「七北田川でEボートに乗ろう」 7月31日 宮城野区ジュニアリーダー 初級研修会・交流会 11月25日 嘱託社会教育主事・地域連携担当職員・市民センター職員研修会 12月17日 インリーダー研修会事前打合せ会 1月～2月 インリーダー研修会	14	約600
若林区中央市民センター	11月26日 ものづくり体験教室 (クッキーづくり, 農家レストラン料理, 生け花づくり, 染め物づくり, 革細工づくり) 8月23日 学校と連携したまちづくり市民会議 12月11日 ジュニアリーダー初級研修会 1月7日 インリーダー研修会事前打合せ兼 研修会 2月 インリーダー研修会	9	約500
太白区中央市民センター	6月3日 第1回太白区内地域連携ネットワーク 会議 6月18日 秋保インリーダー研修会 7月2日 ジュニアリーダー初級研修会 7月29日 第2回太白区内地域連携ネットワーク 会議 6月～1月 太白区内地域連携ネットワーク事業 地区ごと19事業を実施 11月3日 長町秋のフェスティバル(協力事業) 12月10日 インリーダー研修会事前打合せ会 1月20日 第3回太白区内地域連携ネットワー ク会議 1月～2月 インリーダー研修会	163	約5,000
泉区中央市民センター	5月～2月 泉区の社会教育を考える会 6月8日 ブロック別地域連絡会 6月18日 嘱託社教・市民センター合同研修会 7月23日・7月31日 親子で根白石化石ホリダー 8月10日 親子で地下鉄東西線ミニ体験ツアー 11月27日 泉区ジュニアリーダー初級研修会 1月14日 第10回みんなでジャンプ 5月～2月 インリーダー研修会	30	約2,000

(4) 地域コーディネーター研修

＜生涯学習支援センター＞

子どもを育む地域力を高める視点に立ち、地域内のコミュニケーションやネットワークの活性化を目指し、地域で核となる人材を育成する事業。実際に地域で活躍している市民（企画員）との協働により研修内容を企画・実施した。

平成 28 年度の実施状況は下記のとおりである。

(ア) 第 1 回地域コーディネーター研修会 (H28. 6. 17 受講者 31 名)

- ・ 講話 1 「ファシリテーションの基礎」
講話 2 「学校や地域にうまく入っていくためには」
【講師】伊勢 みゆき 氏 (まなびのたねネットワーク 代表理事)
- ・ グループワーク

(イ) 第 2 回地域コーディネーター研修会 (H28. 10. 12 受講者 98 名)

- ・ 事例発表 愛子・錦ヶ丘小 学校支援地域本部 めですこ SCHOOL
安藤 直美 氏 渡部 恵子 氏 (スーパーバイザー)
仙台市立南小泉中学校学校支援地域本部
相澤 雅子 氏 小澤 幸枝 氏 (スーパーバイザー)
心の 110 番友の会 岩下 順郎 氏 (代表)
榴岡かいわい学びのコミュニティ推進委員会 関口 真爾 氏 (委員長)
- ・ 情報交換

(ウ) 第 3 回地域コーディネーター研修会 (H29. 2. 18 受講者 126 名)

- ・ 講演 「これからの地域コーディネーターに求められる役割」
【講師】竹原 和泉 氏 (まちと学校のみらい 代表理事)
- ・ 成果発表 コンパス住吉台
宮本 真由巳 氏 長谷部 順子 氏 (スーパーバイザー)
仙台市立燕沢小学校学校支援地域本部
西條 和枝 氏 庄子 久実 氏
佐藤 由美子 氏 (スーパーバイザー)
仙台市立七郷小学校学校支援地域本部
高橋 幸 氏 南雲 明美 氏 (スーパーバイザー)
沖野学園学校支援地域本部
大内 ユカリ 氏 沼田 信枝 氏 (スーパーバイザー)
- ・ 総括 竹原 和泉 氏 (まちと学校のみらい 代表理事)
野澤 令照 氏 (宮城教育大学 学長付 特任教授)

(エ) 地域コーディネーター研修フォローアップ研修① (H28. 7. 2 受講者 8 名)

(平成 27 年度の研修の中で行動宣言した受講者について、追跡調査や助言を実施)

- ・ 情報交換, 意見交換

(オ)地域コーディネーター研修フォローアップ研修② (H28.12.20 受講者 13名)

(平成 27 年度の研修の中で行動宣言した受講者について、追跡調査や助言を実施)

- ・情報交換，意見交換

(カ)地域コーディネーター研修会企画委員会 (全 2 回 延参加者 8 名)

- ・研修会の方向性や内容の検討

(5) 高等学校開放講座

<生涯学習支援センター>

仙台市立高等学校の持つ施設や人材を活用して、各校が特色ある市民向け講座を実施した。

学校名	講座名	内容	実施日	申込者	受講者
仙台大志 高校	地域活動で役立てよう！プレゼンテーションソフト入門	パワーポイント 2010 の基礎、地域活動に役立つ資料作成、プレゼンテクニックを学ぶ	8 月 8 日 (月) ～8 月 10 日 (水)	14	14
仙台工業 高校	親子で学ぶ電子工作！～工業高校ものづくり体験～	LED とマイコンを使った防災ライトの制作を通じて、電気科のものづくり実習の楽しさを体験する	8 月 20 日 (土) 8 月 21 日 (日)	20	20
仙台青陵 中等教育 学校	毎日続ける！健康運動～高校体育教師による理論と実践～	軽運動からストレッチまで、楽しく体を動かし、家庭で継続できる健康増進運動を紹介する	10 月 28 日 (金) 11 月 11 日 (金)	15	15
仙台高校	表計算入門「エクセル 2013 基礎講座」	エクセル 2013 の基礎、関数の利用、いろいろな表やグラフの作成などを学ぶ	12 月 3 日 (土) 12 月 4 日 (日)	76	29
仙台商業 高校	世の中を読み解く！高校社会をもう一度	日本史，世界史，地理，政経を振り返り，現代社会との関連や問題解決を考え，興味関心の向上や知識活用を目指す	2 月 11 日 (土) 2 月 12 日 (日)	10	8

4 学習情報収集・提供事業

地区市民センターが収集している地域情報を含め、広く情報を集積し、多様な媒体に整理・保管し、広く市民が活用できるよう公開する。

(1) 学習情報レファレンスシステム・市民センターホームページの運営

<生涯学習支援センター>

市民の学習意欲に応え、的確な情報提供サービスを展開することで、効果的に市民の学習活動を支援するため、生涯学習支援センターと市民センターをインターネット回線で結び、生涯学習に関するより新しい情報を提供するとともに、市民の学習相談に応じることを目的として平成12年3月より運営している。

平成26年11月にシステム機器を更新し、新たな「市民センターホームページ」と「学習情報データベース」の運用を開始した。新たなホームページでは、各市民センターの情報を統合して表示したり、講座の開催日を検索しやすくするなどの手法により、市民により分かりやすいページ構成とした。

市民センターホームページのURL <http://www.sendai-shimincenter.jp>

【平成28年度末 仙台市学習情報レファレンスシステム登録情報数】

情報種類	平成28年度末現在
団体・サークル情報	2,701
人材・講師	10,661
事業	4,304
合計	17,666



【平成28年度 市民センターホームページアクセス件数】

閲覧ページ数	941,067	一日あたりの閲覧数	2,578
概算訪問者数	667,104	一日あたりの訪問者数	1,828

(2) 市民センター事業ガイド

<生涯学習支援センター>

講座等参加者の募集中、募集予定がある事業について、区ごとにまとめ、毎月1回発行して、市民への情報提供を行った。

(3) その他の学習情報提供事業

館名	事業名	概要	実施日等
若林区中央市民センター	若林区の映像保存・活用事業	震災からの復興の様子や豊かな自然、地下鉄東西線の開業に伴い変化する街の様子などをボランティアが撮影し、市政だよりの若林区のお知らせのページに「若林の新風景」として掲載したほか、これらの写真のパネル展示を区役所などで開催した。	通年

5 人材育成

(1) 職員研修

<生涯学習支援センター>

市民センター等の社会教育施設職員を対象に、社会の変化や市民のニーズに対応しながら、積極的に市民及び地域と連携するために必要な専門性やコーディネート力などの向上を図る研修を実施した。

【研修内容】

研修名	受講対象	概 要	受講者
生涯学習基礎 研修	<ul style="list-style-type: none"> ・市民センター職員 ・他の社会教育施設職員 ・関係課職員 	第1回「社会教育施設新任職員研修」 5月25日(水) ◎講話1「社会教育施設職員に求められるもの」 東北大学大学院 教授 高橋 満 氏 ◎講話2「仙台市の社会教育・生涯学習について」 仙台市教育局生涯学習課長 奥山 健一 氏 ◎事例紹介「市民の学びを支えるために～参加・空間・資源・協働～」 仙台文学館 学芸主任 渡部 直子 氏 仙台市富沢遺跡保存館 学芸員 中谷 可奈 氏 ◎グループワーク 等	46
		第2回「社会教育と事業評価」 7月1日(金) ◎講話とグループワーク 「社会教育と事業評価」 秋田大学 准教授 原 義彦 氏	45
		第3回「社会教育の現代的な役割」 9月9日(金) ◎講話とグループワーク 「生涯学習社会における社会教育施設の現代的役割」 ～地域活性化の拠点として～ 九州共立大学 名誉教授 古市 勝也 氏	38
		第4回「学校と地域の連携」 10月28日(金) ◎講話「子ども・若者が主役のまちづくりと生涯学習」 ～地域学校協働活動のあり方を考える～ 東京大学大学院 教授 牧野 篤 氏 ◎事例発表 山ガキ隊わくわく学校推進委員会 黒田 達也 氏 櫻井 博美 氏 ◎グループワーク	223
		第5回「学びの連携～オーエンス泉岳自然ふれあい館見学～」 11月11日(金) ◎講話「オーエンス泉岳自然ふれあい館の概要～事業編～」 館長 下山 倉美 氏 ◎施設見学「オーエンス泉岳自然ふれあい館の概要～施設編～」 副館長 白石 裕輔 氏	27

		第6回「社会教育と市民協働」 12月21日(水) ◎講話とグループワーク 「社会教育における市民協働の意義」 茨城大学 特任准教授 長谷川 幸介 氏	32
市民センター 新任職員研修	・市民センター職員 ・関係課職員	4月20日(水) ◎講話1「新任職員への期待」 東北学院大学 教授 水谷 修 氏 ◎講話2「市民センターの概要」※ ◎講話3「学習情報提供・相談と学習情報の発信について」※ ◎講話4「ジュニアリーダーの活動について」※ ◎講話5「学校との連携について」※ ※生涯学習支援センター職員が担当	46
市民センター 館長研修	・市民センター館長	8月31日(水) ◎講話とグループワーク 「多様性配慮の視点を社会教育に生かすために」 ～よりよい市民センター運営に向けて～ (公財) せんだい男女共同参画財団 専務理事兼事務局長 斎藤 邦彦 氏	52
社会教育推進 研修	・生涯学習支援センター、 各区中央市民センター等に所属する社会教育主事等の教育局職員	第1回 5月20日(金) ◎講話とグループワーク 「社会教育主事の誇り」 ～歴史と伝統のある仙台市の社会教育主事として～ 宮城教育大学 学長付 特任教授 野澤 令照 氏	17
		第2回 10月6日(木) ◎事業評価活動についての意見交換等 特定非営利活動法人教育支援協会代表理事 吉田 博彦 氏	17
生涯学習応用 研修～スキル アップ研修～	・市民センター職員 ・他の社会教育施設職員 ・関係課職員	第1回「ファシリテーション研修～初級編～」 6月2日(木) ◎講話とワークショップ 「ファシリテーション入門」 地域社会デザイン・ラボ 代表 遠藤 智栄 氏	28
		第2回「ファシリテーション研修～ワークショップ編～」 7月8日(金) ◎講話とワークショップ 「ワークショップ体験とファシリテーション」 地域社会デザイン・ラボ 代表 遠藤 智栄 氏	27
		第3回「ファシリテーション研修～会議編～」 9月14日(水) ◎講話とワークショップ 「会議でのファシリテーション」 地域社会デザイン・ラボ 代表 遠藤 智栄 氏	27
		第4回「効果的な情報発信研修」 1月27日(金) ◎講話とグループワーク 「効果的な情報発信の知恵」 ～講座のチラシをつくってみよう 仙台市市民活動サポートセンター 情報企画チーム 松村 翔子 氏 小野 真璃子 氏	26

		第5回「コーチング研修」 2月23日(木) ◎講話とグループワーク 「事業運営に役立つコーチングの基本」 ～傾聴・質問・承認を学ぼう～ ドリームフィールド 代表 阿部 侑生 氏	20
生涯学習応用 研修～現代的 課題対応研修 ～	<ul style="list-style-type: none"> ・市民センター職員 ・他の社会教育施設職員 ・関係課職員 	第1回「多様性配慮研修」 6月15日(水) ◎講話とグループワーク 「社会教育施設における多様性への配慮」 ～発達障害の理解と支援～ 特定非営利活動法人 自閉症ピアリンクセンター ここねっと センター長 黒澤 哲 氏	40
		第2回「高齢社会研修」 7月15日(金) ◎講話とグループワーク 「シニアの社会参加と支援の方法」 ～シニアが輝く仕掛けと仕組み～ 東京都健康長寿医療センター研究所 社会参加と地域保健研究チーム研究員 倉岡 正高 氏	50
		第3回「青少年育成研修」 2月10日(金) ◎講話とグループワーク 「若者の『ありのまま』に向き合う」 YEC(若者エンパワメント委員会) 代表 吉田 真友 氏 メンバー 本林 智都 氏	28
事例発表研究 研修	<ul style="list-style-type: none"> ・市民センター職員 ・関係課職員 	1月15日(日) ◎成果報告 子ども参画型社会創造支援事業 若者社会参画型学習推進事業 住民参画・問題解決型学習推進事業 ◎全体講評 東北学院大学 教授 水谷 修 氏 プランニング開 代表 新田 新一郎 氏	120
		3月1日(水) ◎事例発表「子ども参画型社会創造支援事業」分科会 若者社会参画型学習推進事業」分科会 住民参画・問題解決型学習推進事業」分科会 ◎総括 東北学院大学 教授 水谷 修 氏 プランニング開 代表 新田 新一郎 氏	94

(2) 学びのまち仙台市民カレッジ事業

<生涯学習支援センター>

本市における生涯学習の支援拠点として、全市域の市民を対象に、社会ニーズや現代的課題に対応した専門的で質の高い学習の機会を創出することで、学びを通じた市民力の育成を目指すとともに、学習成果が地域や社会に還元されるような仕組みづくりを進めた。

①「地域づくり支援基礎講座」～身近な事例から学ぶ～

市民を対象に市内外における先進事例の紹介や視察・講演等からなる講座を企画・実施した。参加者が地域づくりに取り組もうとする際に、どのような方法で活動をしていけばよいか、地域実践に活かせる知識・スキル等を身近な地域づくりの実践事例等を通して学ぶとともに身近な地域をよりよくするため主体的に行動するとともに地域を支えようとする人材育成をめざした。

【学習内容】

回	日時	概 要	受講者
1	5月11日(水) 18:30~20:30	◎開講式 ◎講話「地域づくりを楽しもう!」 せんだい泉エフエム放送株式会社 取締役事業部長 阿部 清人 氏 ◎グループワーク(自己紹介等) ※講座のコーディネーターは、阿部 清人 氏	16
2	6月1日(水) 18:30~20:30	◎講話(事例発表)「町内会活動の事例から」 ◎事例発表1 福住町町内会 会長 菅原 康雄 氏 ◎事例発表2 片平地区連合町内 会長 今野 均 氏	18
3	7月6日(水) 18:30~20:30	◎講話「スポーツボランティアと地域づくり」 ◎講話1 グランディ21 ボランティア委員会 キャプテン 村松 淳司 氏 ◎講話2 特定非営利活動法人 クラップス 代表 石河 美奈 氏	16
4	8月3日(水) 18:30~20:30	◎講話「学びのコミュニティをつくろう」 ◎講話1 榴岡かいわい学びのコミュニティ推進委員会 委員長 関口 真爾 氏 ◎講話2 ふれあい学びネットい・ず・み推進委員会 委員長 齋藤 純子 氏	17
5	9月3日(土) 13:30~17:00	◎館外学習「吉岡宿(黒川郡大和町)の見学」 ◎講話 まほろばまちづくり協議会 会長 佐々木 末治 氏 理事 高橋 信行 氏 ◎見学案内 まほろばまちづくり協議会 案内ガイド4名 ◎閉講式 株式会社MCラボ代表取締役 阿部 清人 氏	14

②「地域づくり支援応用講座」～あなたの力をスキルアップ～

市民を対象に、地域づくりに必要な知識やスキルを習得するための、より専門的な学習機会を提供することにより、地域づくりを牽引する人材育成をめざした。

参加者が抱える地域づくりについての課題が、地域づくりにかかるより専門的な学習を通して、解決につながるよう支援するとともに、地域実践に活かせる知識・スキル等を身につけられる内容とした。

【学習内容】

回	日 時	概 要	受講者
1	9月28日(水) 18:30~20:30	◎開講式 ◎講話「地域づくりの課題を見つけよう！」 株式会社MCラボ 代表取締役 阿部 清人 氏 ◎グループワーク(参加者自己紹介・情報交換等) ※講座のコーディネーターは、阿部 清人 氏	21
2	11月2日(水) 18:30~20:30	◎講話「カードが教えるコミュニケーション術」 ～互いの力を活かして地域づくりへ～ キャリアトーク 代表 志伯 暁子 氏	25
3	12月7日(水) 18:30~20:30	◎講話「ファシリテーション基礎編」 NPO法人 日本ファシリテーション協会 理事 中西 百合 氏	18
4	1月11日(水) 18:30~20:30	◎講話「ファシリテーション応用編」 NPO法人 日本ファシリテーション協会 理事 中西 百合 氏 ※講師都合により、第5回目と同日(2/1)に開催	22
5	2月1日(水) 18:30~20:30	◎講話・ワーク「学びの振り返り」 株式会社MCラボ 代表取締役 阿部 清人 氏 ◎閉講式	22

③「仙台再発見リレー講座」

市民を対象に、「わがまち仙台」をテーマとして、歴史、産業、食、文化、まちづくり等の視点から学びを広げ、地域の魅力に改めて気づくとともに、今後の発展に自分なりの考えをもつことができるような講座を実施することで、地域づくりに関わろうとする新たな人材の発掘や、そのような市民層の拡大を目指した。

【学習内容】

回	日 時	概 要	受講者
1	5月28日(土) 14:00~16:00	◎講話「仙台の街の魅力とスポーツ」 仙台大学副学長／東北楽天ゴールデンイーグルスシニアアドバイザー／東北大学特任教授兼総長顧問 マーティ キーナート 氏 ◎対談「わがまち仙台の魅力」 仙台大学副学長／東北楽天ゴールデンイーグルスシニアアドバイザー／東北大学特任教授兼総長顧問 マーティ キーナート 氏 せんだい泉エフエム放送株式会社 取締役事業部長 阿部 清人 氏	51
2	6月11日(土) 14:00~16:00	◎講話「食文化から見た仙台の魅力」 仙台大学 教授 高成田 亨 氏	47
3	6月25日(土) 14:00~16:00	◎講話「商業都市としての仙台」 株式会社 阿部蒲鉾店 代表取締役社長 阿部 賀寿男 氏	34
4	7月2日(土) 14:00~16:00	◎講話「仙台藩のまちづくり」 仙台市教育局 文化財課 木村 浩二 氏	50
5	7月23日(土) 14:00~16:00	◎講話「仙台のまちづくり」 特定非営利活動法人 都市デザインワークス 代表理事 榎原 進 氏	44

④「学び直し」講座

「子育て後の女性の社会参加」や「困難を抱える青少年の支援」等、就労にも関連し、現代社会が世代ごとに抱える課題の解決を図るため、関連機関やNPO等と連携しながら、学びの場を提供した。

○就労準備講座 「働く「わたし」をイメージ～なりたい自分に近づくために～」

対象：子どもが就園・就学等をしたら働きたいと考えている現在子育て中の女性

場所：生涯学習支援センター 第2セミナー室

【学習内容】

回	開催日	概 要	受講者
1	6月9日(木)	◎講話とワーク「わたしにとって“働く”ということ」 (公財) せんだい男女共同参画財団 事業管理係長 牛井 展子 氏	14
2	6月16日(木)	◎ワーク「働くママに役立つコミュニケーション」 ～効果抜群！自分と仲良くなるメンタルコントロール法について～ ドリームフィールド代表 阿部 侑生 氏	9
3	6月23日(木)	◎講話「働くための準備ポイント」 マザーズハローワーク青葉 職業指導官 福濱 有紀 氏	12
4	6月30日(木)	◎講話「先輩ママの話」 子育てをしながら働いている女性3名との対話 ファシリテーター：のびすく 仙台館長 伊藤 仟佐子 氏	11

○現代的課題講座 「子どもや若者の困難を考える～私たち周りの人ができること」

対象：不問（子どもや若者の困難に関心を持ち、支援等を考える周囲の方を想定）

場所：生涯学習支援センター 第2セミナー室

【学習内容】

回	開催日	概 要	受講者
1	3月4日(土)	◎講話「困難の状況とサポートの方法」 東北大学大学院教育学研究科 准教授 若島 孔文 氏	84
2	3月11日(土)	◎講話「子どもの貧困～地域の力で育ちを支える～」 NPO法人アスイク 代表理事 大橋 雄介 氏	59
3	3月18日(土)	◎講話「不適切な養育環境で育つ～大人になれない子どもたち～」 国立病院機構仙台医療センター 小児科医 田澤 雄作 氏	68

(3) ボランティア養成等人材育成事業

① 託児ボランティア養成・活動支援

＜生涯学習支援センター＞

「いつでも」「どこでも」「誰でも」学習できる「学びのバリアフリー事業」の一環として、子育て中の保護者が安心して学習できるように講座に託児を付設している。

託児付き事業の託児室は、市民参画による市民のためのものとしてボランティアによる主体的な運営を前提としており、その中で活躍する託児ボランティアを支援するとともに、新たな託児ボランティアの養成・育成のための事業を実施した。

【研修内容】

事業名	開催日	内 容	延受講者
託児ボランティア養成講座	9月29日 10月6日 10月13日 10月20日 10月27日	託児ボランティアとしての活動に必要な知識や技術を学んだ。 ・オリエンテーション 「託児ボランティア活動について」 ・講話「子どもを取り巻く環境①遊びと発達」 講師：仙台市高砂保育所保育士 ・移動学習「子どもを取り巻く環境②保育所見学」 仙台市支倉保育所見学 ・講話「子どもの病気と怪我」 講師：青葉区家庭健康課保健師 ・話し合い、実技「これからの活動に向けて」	96
託児ボランティアフォローアップ研修	12月6日	より質の高い託児室運営のため、託児ボランティアの資質や技術向上に役立つ研修を実施した。 ・託児における食物アレルギー・アナフィラキシーショックの対応 講師：宮城県立こども病院 アレルギー科 部長 北沢 博 氏	48
託児ボランティア活動支援 (連絡会・調整会の開催)	5月10日 10月4日 3月7日	市民センターで活動する託児ボランティアに対し、連絡会、託児調整会等の開催により、日常の活動を支援した。	93

【託児ボランティアグループ一覧】（平成29年3月現在）

グループ名	設立年月日	最寄の市民センター	会員数
さくらんぼ	H14. 5. 8	木町通市民センター	5
ひまわり	H 9. 8. 1	水の森市民センター	8
アリスの会	H 5. 7	生涯学習支援センター	4
にんじん	S59. 7. 9	東部市民センター	5
ハイジ	H22. 4	若林区中央市民センター	14
クリップ	H 9. 4. 1	六郷市民センター	14
でんでんむし	H12. 3. 22	東中田市民センター	10
こんぺいとう	H 7. 10. 1	茂庭台市民センター	3
たんぼぼ	H 3	富沢市民センター	12
キャンディ	H22. 4	南光台市民センター	5
ちゅうりっぷ	H13. 3. 14	泉区中央市民センター	13
てっぺの会	H 6. 4	寺岡市民センター	9
合計 12グループ / 会員数 102名			

② 図書ボランティア活動支援

＜生涯学習支援センター＞

市民センター併設の図書室（47 館）のうち 29 館の図書室では、市民ボランティアの協力により図書の貸し出し等の運営を行っている。

その図書ボランティアの活動を支援するためのスキルアップ研修を実施した。

【研修内容】

事業名	開催日	内 容	受講者
図書ボランティアスキルアップ研修	12月4日	「読み聞かせ・手遊び・わらべうた」 講師：たんぼぼ文庫代表、 語り手たちの会・みやぎ代表 竹丸 富子 氏	30

【図書ボランティア一覧】（平成 28 年 7 月現在）

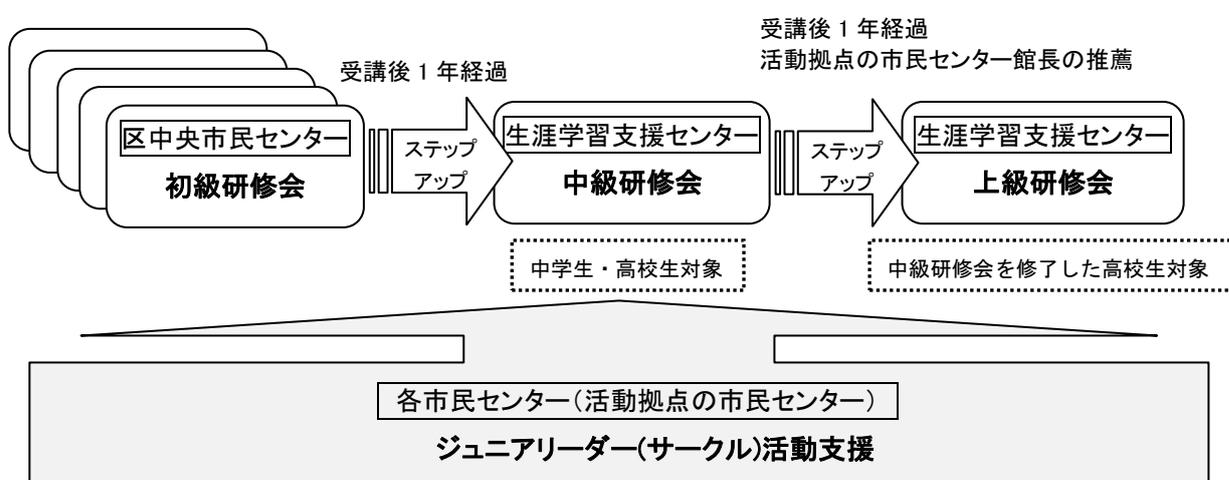
グループ名	活動館	会員数
さくらさくら	北山市民センター	10
カンナの会	福沢市民センター	11
図書ボランティアぽけっと	三本松市民センター	8
葉の会	落合市民センター	14
（個人登録）	片平市民センター	6
（グループ名なし）	水の森市民センター	20
ひまわり	貝ヶ森市民センター	9
（個人登録）	中山市民センター	8
コスモス文庫	大沢市民センター	14
図書ボランティアたんぼぼ	吉成市民センター	9
図書ボランティア	木町通市民センター	8
しおりの会	岩切市民センター	9
おはなしこぶた	岩切市民センター	3
（グループ名なし）	田子市民センター	1
ターンぼっぼ	東部市民センター	8
かすみそう	高砂市民センター	6
図書ボランティアサークル「ひまわり」	幸町市民センター	9
図書ボランティアみちくさ	荒町市民センター	10
（個人登録）	七郷市民センター	9
（個人登録）	沖野市民センター	8
ブックスフレンド中田	中田市民センター	16
八木山図書ボランティア委員会	八木山市民センター	30
図書ボランティア縄文	山田市民センター	7
富沢市民センター図書ボランティアの会	富沢市民センター	20
（個人登録）	東中田市民センター	7
茂庭台図書ボランティア	茂庭台市民センター	12
図書ボランティア	西多賀市民センター	10
図書ボランティアコスモス	八本松市民センター	8
ブックポケット	柳生市民センター	5
松森市民センター図書ボランティア	松森市民センター	7
ボランティア数計 302 名		

③ ジュニアリーダー育成・支援

ジュニアリーダーとは、青少年ボランティア活動の一環として、仙台市教育委員会の支援を受け、各市民センターを拠点として活動している中学生・高校生のことである。

ジュニアリーダーの主な活動内容は、地域の子ども会活動を活性化するための支援であり、この活動を通して、地域全体の活性化に貢献している。また、子どもを対象としたイベントの企画・実施や、様々なボランティア活動にも積極的に取り組んでおり、ジュニアリーダー自身の人格形成に生かされている。

ジュニアリーダーを育成するために、各区中央市民センターにおいて初級研修会（初心者を対象）、生涯学習支援センターにおいて中級研修会・上級研修会（ステップアップ研修）を実施している。さらに、ジュニアリーダーの活動の拠点となっている市民センターにおいては、活動の支援に加え、ジュニアリーダーを指導者とした事業も行っている。



【ジュニアリーダーサークルの主な活動】

- 自主企画（ジュニアと遊ぼう、交流会など）、定例研修会及び連絡会、各種研修会
- 子ども会、市民センター、その他の機関からの要請による活動
 - ・ 子ども会行事の実施及び企画の補助
 - ・ 区民まつりへの参加
 - ・ 市民センター事業への補助
 - ・ 児童館行事のスタッフ など

○ジュニアリーダー初級研修会

各区中央市民センターを会場に、ジュニアリーダーとして必要となる基本的な知識や技術を習得するための研修を行った。対象者は、「新たにジュニアリーダーを志す中学生・高校生」とした。

本研修会は、ジュニアリーダー活動の理念に触れ、興味・関心を高めるとともに、現ジュニアリーダーとの親睦を図り、今後の活動への意欲を持たせることを中心に実施した。

【平成 28 年度実績】

主催館名	開催日	受講者
青葉区中央市民センター	7月3日(日)	38
宮城野区中央市民センター	7月31日(日)	12
若林区中央市民センター	12月11日(日)	19
太白区中央市民センター	7月2日(土)	28
泉区中央市民センター	11月27日(日)	44

○ジュニアリーダー中級研修会

＜生涯学習支援センター＞（共催：仙台市嘱託社会教育主事研究協議会）

地域の子ども会活動の活性化と、青少年のボランティア活動を積極的に推進するための研修を行った。

対象者は、「初級研修会を修了し、引き続きジュニアリーダーとして活動を行っている中学生及び高校生」で、かつ、「活動拠点となる市民センターの推薦を受けた者」とした。

本研修会は、ジュニアリーダーとして必要となるより専門的な知識と技術の習得を中心とした内容で実施した。

○62名受講 8月6日(土)、7日(日) 会場：生涯学習支援センター

研修内容「今、ジュニアリーダーに必要なものとは?」、「要請の受け方」、「子どもを引き付けるコツとは?」、「要請のプログラムを作成しよう」、「要請のプログラムを実践しよう」

○ジュニアリーダー上級研修会

＜生涯学習支援センター＞（共催：仙台市嘱託社会教育主事研究協議会）

青少年のボランティア活動と地域の子ども会活動の一層の振興を図るために、仙台市ジュニアリーダー全体をまとめ、リードする立場にある高校生ジュニアリーダーの資質向上と技能の研鑽のための研修を行った。

対象者は、「中級研修会を修了し、引き続きジュニアリーダーとして活動している高校生または高校生の年齢に相当する者」、かつ、「活動実績・資質ともに上級リーダーとして適格であり、活動拠点となる市民センターの推薦を受けた者」とした。

本研修会は、野外活動のスキルアップを中心とした内容で実施した。

○19名受講 7月16日(土)、17日(日) 会場：仙台市立上野山小学校

研修内容「リーダーとしての役割と心構え」、「よりよいサークル運営」、「キャンプファイヤーのコーディネートの仕方」、「テント設営」、「野外活動と安全」、「テントのしまい方」

○ジュニアリーダー実践研修会

＜生涯学習支援センター＞（共催：仙台市嘱託社会教育主事研究協議会）

上級研修会の伝講の場として、上級認定者が講師となり、未認定者に対して野外炊飯やキャンプファイヤー等の野外活動のスキルアップを図った。併せて、5区のジュニアリー

ダーが交流を深め、幅広い視野や責任感を持って地域で活動できるリーダーとしての資質向上・技術向上のための研修も行った。

対象は、各地区館が支援するジュニアリーダーサークルに所属している全ジュニアリーダーとし、単位等を認定する研修会ではないことから、部分的な参加も認めた。

○39名受講 9月18日(日)、9月19日(月) 会場：オーエンス泉岳自然ふれあい館
研修内容「テントの設営」、「ダンス研修」、「キャンプファイヤー」、「野外炊飯」

【ジュニアリーダーサークル及び活動拠点館一覧】(平成29年3月現在)

区内連絡会	No	サークル名	登録数	活動拠点館名
青葉区 (103名) 連絡会『星のすなごけい』 (青葉区中央市民センター)	1	MRVC くまっこ	27	広瀬市民センター
	2	かめ吉	17	福沢市民センター
	3	朝実巢あかよぼく	10	北山市民センター
	4	Colors	5	旭ヶ丘市民センター
	5	SKY	21	中山市民センター
	6	みずの森ーダー' S	15	水の森市民センター
	7	Blue Leaf Spirits	8	青葉区中央市民センター
宮城野区 (55名) 連絡会『Lovers』 (宮城野区中央市民センター)	1	高砂フレンズクラブ	5	高砂市民センター
	2	岩切ガンキリーズ	6	岩切市民センター
	3	鶴ヶ谷 Yourself	8	鶴ヶ谷市民センター
	4	幸町 Fortune	8	幸町市民センター
	5	With Us 宮城野	28	宮城野区中央市民センター
若林区 (57名) 連絡会『田んぼっ区』 (若林区中央市民センター)	1	郷郷七郷	11	七郷市民センター
	2	六郷村	6	六郷市民センター
	3	ビ野沖ヲ	8	沖野市民センター
	4	JARO	12	若林区中央市民センター
	5	ワンマイル荒町	10	荒町市民センター
	6	若林にゃくりん	10	若林市民センター
太白区 (66名) 連絡会『ANON』 (太白区中央市民センター)	1	なかだかな	20	中田市民センター
	2	おいでください	10	生出市民センター
	3	ジュニアリーダーサークル Green Powers	0	秋保市民センター
	4	にしたがつつまん	13	西多賀市民センター
	5	ながまっくる	23	太白区中央市民センター
	6	moni-s ※平成28年度末に発足	—	茂庭台市民センター
泉区 (177名) 連絡会『ざわざわ森』 (泉区中央市民センター)	1	黒松ファミリー	13	黒松市民センター
	2	南光台アドバルーン	6	南光台市民センター
	3	もみの木カリヨン	15	根白石市民センター
	4	向陽台ばびふべパレット	0	松陵市民センター
	5	将監くれよん	16	桂市民センター
	6	長命ヶ丘巣子つぶ	17	南中山市民センター
	7	高森流星サークル	13	高森市民センター
	8	寺岡流星サークル	16	寺岡市民センター
	9	七北田 JL サークルありす	17	泉区中央市民センター
	10	みちのく松陵	34	松陵市民センター
	11	加茂プレゼント	7	加茂市民センター
	12	パズル鶴が丘	7	松森市民センター
	13	根住 s	16	根白石市民センター
市全体 (458名 / 37サークル) 仙台市連絡会『ずんだ』(生涯学習支援センター)				

④ インリーダー研修会

子ども会活動の充実を図るため、子ども会のリーダーとして活躍する児童及び世話人を対象に、子ども会活動についての知識やレクリエーションなどの実技を学習するための研修会を実施した。

【平成 28 年度実績】

区	開催回数	延受講者
青葉区	9	494
宮城野区	9	404
若林区	6	348
太白区	11	586
泉区	22	1,305
合計	57	3137

⑤ 実習受入

○社会教育実習生

宮城教育大学、東北学院大学からの依頼を受け、各大学の社会教育主事資格取得を目指す学生を社会教育実習生として各区中央市民センターで受け入れ、公民館（市民センター）の概要や講座の企画立案・実践について指導した。

- a. 施設実習 H28. 8. 23～H28. 8. 28
- b. 施設実習 H28. 9. 27～H28. 10. 2
- c. 講座実習 H28. 10～H28. 11
- d. 実習報告 H29. 2. 14

実習生 東北学院大 20 名 (a. c. d)、宮城教育大学 6 名 (a. のみ)、
宮城教育大学 5 名 (b. のみ)

○児童・生徒の職場体験実習

小学生、中学生の職場体験実習を受け入れ、市民センター業務について学ぶ機会を提供した。

受け入れ学校数及び人数 小学校（1 校 17 名）、中学校（5 校 17 名）

⑥ 学びを支えるボランティアセミナー

<生涯学習支援センター>

「学びのまち・仙台」を支える基盤の充実を目指し、より多くの市民や団体等が、学びの活動に参画できるよう、市民や行政といった立場の違いを越えて理念の共有を図ると共に、ネットワークの構築を進めることを目的として実施した。

○日時：平成 28 年 11 月 17 日（木）

○会場：生涯学習支援センター 第 1 セミナー室

○対象：社会教育施設等で活動するボランティア、社会教育施設職員、社会教育施設での学びを支えるボランティア活動に興味や意欲のある市民

○参加者数：21 名

○内容：講話「ボランティアと社会教育施設の連携と協働」

【講師】菊地 竜生 氏

(仙台市市民活動サポートセンター センター長)

事例発表

市民図書館 奉仕整理係主査 佐藤 文 氏

ブックトークボランティア ランプ代表 斎藤 千里 氏

オーエンス泉岳自然ふれあい館 副館長 白石 裕輔 氏

野外活動ボランティア 半澤 恵子 氏

情報交換等

⑦ 地域情報発信サポーター養成・活動支援

＜生涯学習支援センター＞

○地域情報発信サポーター養成講座

市民センターに関わる生涯学習情報，地域資源情報を収集し，広く市民に向けて発信する活動を行う地域情報発信サポーターの養成講座を実施した。

【学習内容】

回	開催日	概 要	受講者
1	10月25日(火)	◎講話「地域（生涯学習）の情報を知る」 市民センターの概要と地域づくり活動事例についての座学 生涯学習支援センター職員	10
2	11月1日(火)	◎講話とワーク「地域の情報を伝える」 ボランティア活動事例紹介とインタビュー実践のワーク体験 仙台市市民活動サポートセンター 葛西 淳子 氏 菅野 祥子 氏	10
3	11月8日(火)	◎講話とワーク「地域の情報を広める」 市民センター関係事業成果物のプレゼンテーションワーク体験 仙台市市民活動サポートセンター 松村 翔子 氏 菅野 祥子 氏	8
4	11月15日(火)	◎話し合い「施設の見学&お話し合い」 これからの活動に向けての話し合い，サポーター登録受付など ファシリテーター：生涯学習支援センター職員	7

○地域情報発信サポーター活動支援

地域情報発信サポーターの養成講座を修了した7名が自主サークル「仙台おもしろ発見隊」として活動を開始し，11回（延49名）の活動を行い，リーフレット「地域のなかまたち」プレ号，創刊号を作成し，市民センター等へ配布した。円滑な活動により効果的な情報発信が行われるよう，支援を行っていく。

6 仙台市公民館運営審議会

社会教育法第29条、仙台市市民センター条例第13条に基づき、市民センターにおける各種の事業の企画実施につき調査審議を行う、本市が設置するすべての市民センターに共通の公民館運営審議会として設置している。

現委員は14人で、任期は平成27年11月1日から平成29年10月31日までの2年間となっている。

【委員名簿】 [平成29年8月1日現在]

氏 名	職業または所属団体
阿 部 侑 生	D r e a m F i e l d 代表
市 瀬 智 紀	宮城教育大学教員キャリア研究機構教授
幾 世 橋 広 子	仙台市社会学級研究会顧問
小 岩 孝 子	NPO 法人 FOR YOU にこにこの家理事長
小 地 沢 将 之	仙台高等専門学校総合工学科准教授
○ 齋 藤 純 子	NPO 法人せんだい杜の子ども劇場代表理事
齊 藤 康 則	東北学院大学経済学部准教授
◎ 佐 藤 直 由	東北文化学園大学医療福祉学部教授
島 倉 美 穂	公募委員
菅 井 茂	仙台市連合町内会長会会長
鈴 木 一 彦	仙台市立南材木町小学校校長
中 山 聖 子	NPO 法人ハーベストキャリア教育コーディネーター
吉 田 祐 也	学校法人尚綱学院職員
渡 辺 博	仙台市議会議員

◎：会長 ○：副会長 敬称略・50音順

【近年の審議内容(平成15年度～平成28年度)】

提出日	種別	テーマ(題名)	主な内容
平成15年 10月7日	提言	市民センターにおける子どもの事業のあり方について	1 審議会における検討の過程 2 子どもの事業に取り組む課題と視点 3 ジュニアリーダーの育成と活動支援 4 学社連携・融合事業について 5 学校週5日制に対応した事業について
平成17年 9月12日	提言	市民センターにおける市民参加と市民協働の推進について	1 市民参加と市民協働の課題 2 市民センター運営における市民参加について 3 市民企画委員によるプログラムづくりについて 4 市民参加を広げる事業活動をめざして
平成19年 10月30日	答申	市民センターの施設理念と運営方針の見直しについて	1 見直しの背景 2 見直しにあたっての考え方 3 市民センターの施設理念と運営方針

提出日	種別	テーマ(題名)	主な内容
平成 21 年 10 月 13 日	報告	審議の経過報告	1 今期審議会のテーマ設定と議論の経緯について 2 経過報告のまとめについて <これまでの審議内容(各委員の意見)の概要> 1 市民センターの区への移管について 2 連携事業の調査からみえてきたもの <市民センターが大切にしてきた社会教育の価値とは> (梨本雄太郎委員) <区行政との「融合」をめぐって> (石井山竜平委員)
平成 22 年 3 月 16 日	意見	「次期行財政改革計画(素案)」に対する意見書	区役所への移管については課題や懸念があることから、それらを解決・解消した上で判断するべきと考える。
平成 22 年 8 月 31 日	提案	市民センターを拠点とした新しいまちづくりの提案 -仙台プラン-	<市民センターを拠点とした新しいまちづくり> 1 意識を変える 2 人材発掘・育成とネットワーク化 3 市民の活動の場を生み出し支援する <新しいまちづくりに向けた市民センターの新たな一歩 /今後の取り組み[提案] / 仙台プラン対応事業案> 1 住民参画・問題解決型学習事業 2 子ども参画型社会創造事業 3 学社連携・既存の事業範囲枠を超えた公共施設の連携事業
平成 23 年 1 月 25 日	意見	「市民センターを活かした地域づくりの推進」に関する意見	1 検討の進め方について 2 組織見直しをめぐる課題について
平成 25 年 5 月 31 日	答申	仙台市市民センター事業の評価のあり方について	1 これまでの経緯 2 評価の現状と基本的な考え方 3 本審議会が実施する外部評価 4 本審議会以外が実施する外部評価 5 まとめ
平成 25 年 10 月 26 日	報告	平成 24 年度仙台市市民センター事業評価報告書	1 評価の目的 2 評価の実施 3 評価の結果 4 まとめ
平成 25 年 10 月 26 日	意見	仙台市市民センターの施設理念と運営方針の見直しに関する意見について	1 「仙台市市民センターの施設理念」について 2 「仙台市市民センター事業の運営方針」について 3 「仙台市市民センターの施設管理の運営方針」について 4 東日本大震災を踏まえた内容の見直しについて 5 その他
平成 26 年 7 月 31 日	報告	平成 25 年度仙台市市民センター事業評価報告書	1 評価の目的 2 評価の実施 3 評価の結果 4 まとめ
平成 27 年 8 月 25 日	報告	平成 26 年度仙台市市民センター事業評価報告書	1 評価の目的 2 評価の実施 3 評価の結果 4 まとめ
平成 27 年 10 月 17 日	意見	震災を踏まえた今後の市民センター事業のあり方等について	1 震災後の取り組みの成果と課題 2 今後の市民センター事業に関する委員の意見

【審議経過】

開催日	会議種別	協議議題
平成 27 年 11 月 10 日 (木)	定例会	委嘱状交付式 協議： (1) 会長, 副会長選出 (2) 会議の公開, 非公開について (3) 議事録及び署名人について (4) 公民館運営審議会定例会の日程について 報告： (1) 審議会の運営について (2) 各区中央市民センターの区役所への移管にかかる事業検証報告書 (案) について
平成 28 年 1 月 28 日 (木)	定例会	審議： (1) 今期の審議の進め方について (2) 今期の仙台市市民センター事業の評価について 報告： 「各区中央市民センターの区役所への移管にかかる事業の検証について」
3 月 24 日 (木)	定例会	審議： ○今期の仙台市市民センター事業の評価について ○話題提供
5 月 26 日 (木)	定例会	審議： ○今期の仙台市市民センター事業の評価について
6 月 29 日 (水)	視察	○事業視察及び事業参加者へのヒアリング (黒松)
7 月 6 日 (水)	視察	○事業視察及び事業参加者へのヒアリング (黒松)
7 月 28 日 (木)	定例会	審議： ○職員へのヒアリング (黒松) ○事業評価についての意見交換
8 月 27 日 (土)	定例会	○事業視察、事業参加者及び職員へのヒアリング (富沢)
9 月 1 日 (木)	臨時会	審議： ○事業評価についての意見交換
11 月 10 日 (木)	定例会	審議： ○今期の仙台市市民センター事業の評価について
平成 29 年 1 月 26 日 (木)	定例会	審議： ○市民センター事業評価報告書 (案) について 報告： ○区中央市民センター事業 (重点 3 事業) について
3 月 23 日 (木)	定例会	審議： (1) 市民センター事業評価報告書について (2) 今後の進め方 報告： ○平成 29 年度 市民センター主要事業について
5 月 25 日 (木)	定例会	報告： ○仙台市市民センター事業評価の実施状況について 審議：
8 月 3 日 (木)	定例会	報告： ○市民センター事業運営懇話会等実施状況について 審議：
8 月 24 日 (木)	定例会	審議： ○仙台市市民センター事業評価に関する意見について